

TOTO

化粧鏡

LMN604N～LMN754N 型（一面鏡）
LMN605NH～LMN755NH 型（二・三面鏡）

製品の機能が発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1)安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことをお知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

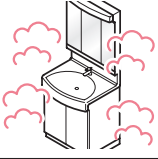
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。 紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。			

**警告**

**禁止**

浴室など湿気が多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

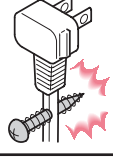


**禁止**

コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

**禁止**

電源コードを傷つけない
漏電および火災の原因になります。

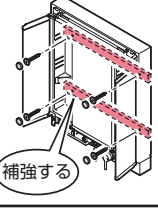


**必ず実行**

水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。

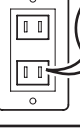
**必ず実行**

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットや化粧鏡が転倒しけがをするおそれがあります。



**必ず実行**

電源はAC100Vを使用する
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



**注意**

**必ず実行**

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

**必ず実行**

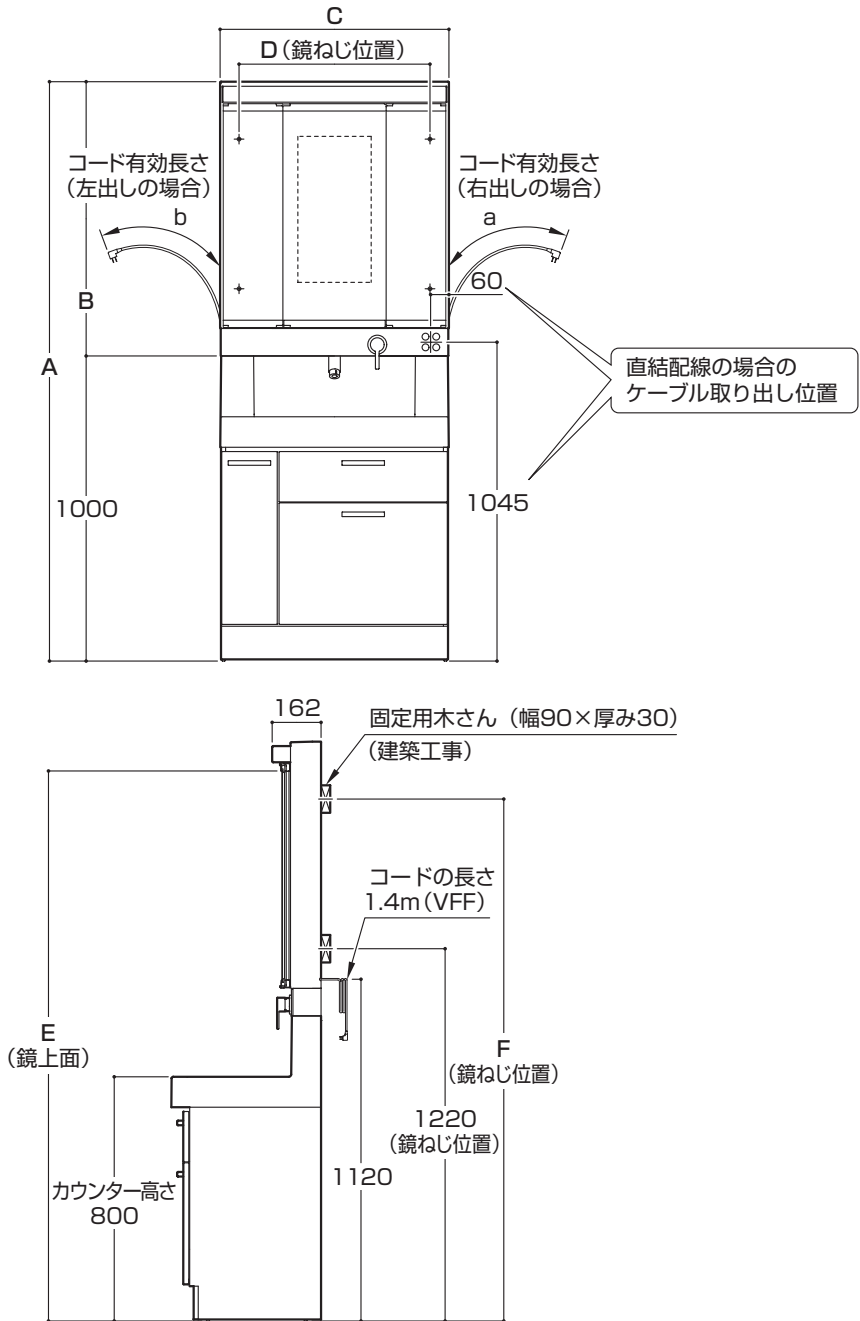
照明カバーは確実に取り付ける
落下してけがをするおそれがあります。

2)設置寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。

※本図はLMN755NHタイプを示します。

製品品番	A	B	C	D	E	F	a	b		
LMN604NLH型	1790	790	600	475	1709	1600	1300	880		
LMN704NLH型			700	575				780		
LMN754NLH型			750	625				730		
LMN604NH型	1900	900	600	475	1819	1710		880		
LMN704NH型			700	575				780		
LMN754NH型			750	625				730		
LMN605NH型			600	475	1802			880		
LMN705NH型			700	575				780		
LMN755NH型			750	625				730		



3) 付属部品明細

	名 称	数量
1	壁固定用木ねじ (φ5.2×55)	4本
2	取扱説明書	1冊
3	歯ブラシ立て	1セット
4	化粧キャップ	4個

4) 設置上の注意

- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材（ダンボールなど）を敷いてください。

5) 取り付け条件

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
（壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）

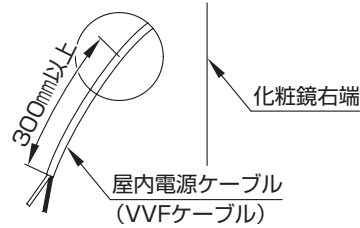
※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度：1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。（プラグ用の下穴は必ずご使用のプラグの指定のドリル径であけてください。）

電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして下図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



警告



必ず実行

配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う

正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。



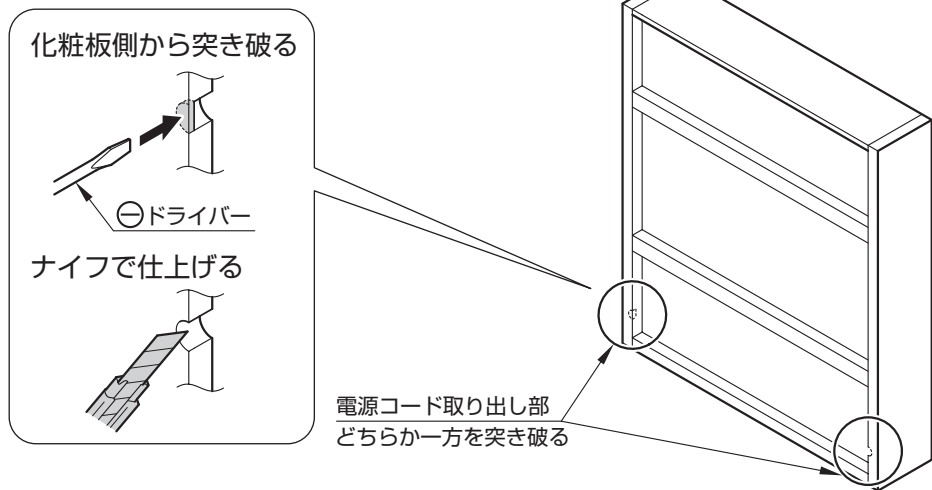
禁止

電源ケーブルを切断して、ケーブル同士を直接つながない

発火・火災の原因になります。

6) 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

- ① 一面鏡の場合、電源コード取り出し側に合わせて側板をマイナスドライバーで化粧板側から突き破ってください。



注意

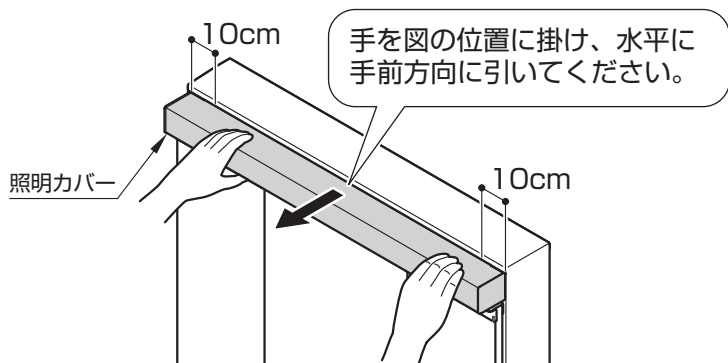


必ず実行

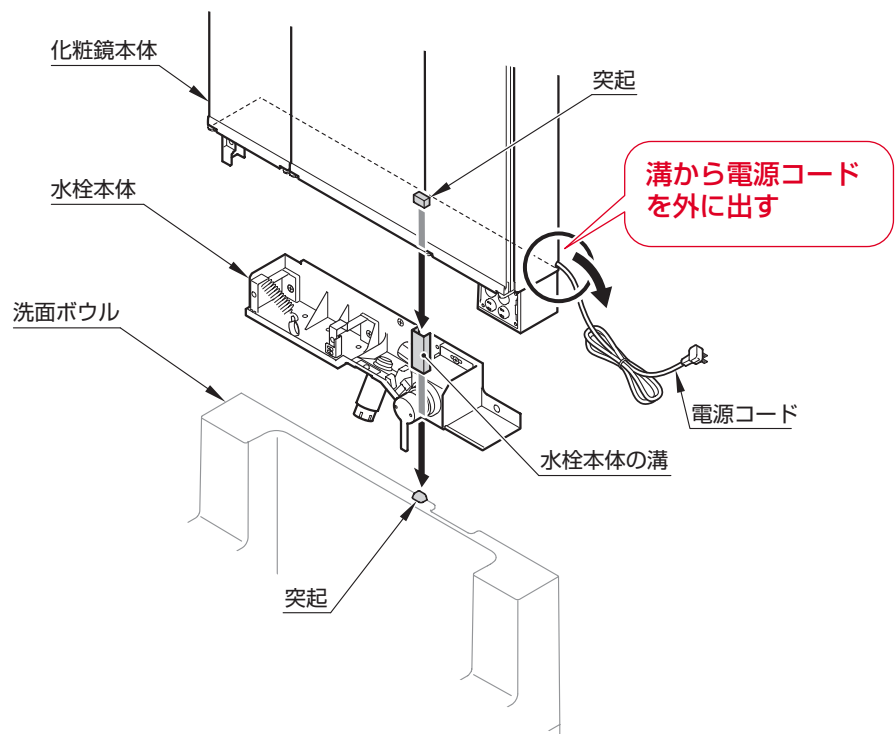
必ず化粧板側（外側）から突き破る

内側から突くと化粧板が欠けます。

- ② 照明カバーを取り外してください。



- ③ 本体下部を水栓本体の上のせてください。
- ④ その際、鏡本体下部の突起と水栓本体の溝の位置を合わせてください。
- ⑤ また、電源コードを本体横の溝から確実に外に出しておいてください。
※裏面で電源コードがたるまないようにしてください。



警告



必ず実行

電源コードは必ず切り欠き部から出す

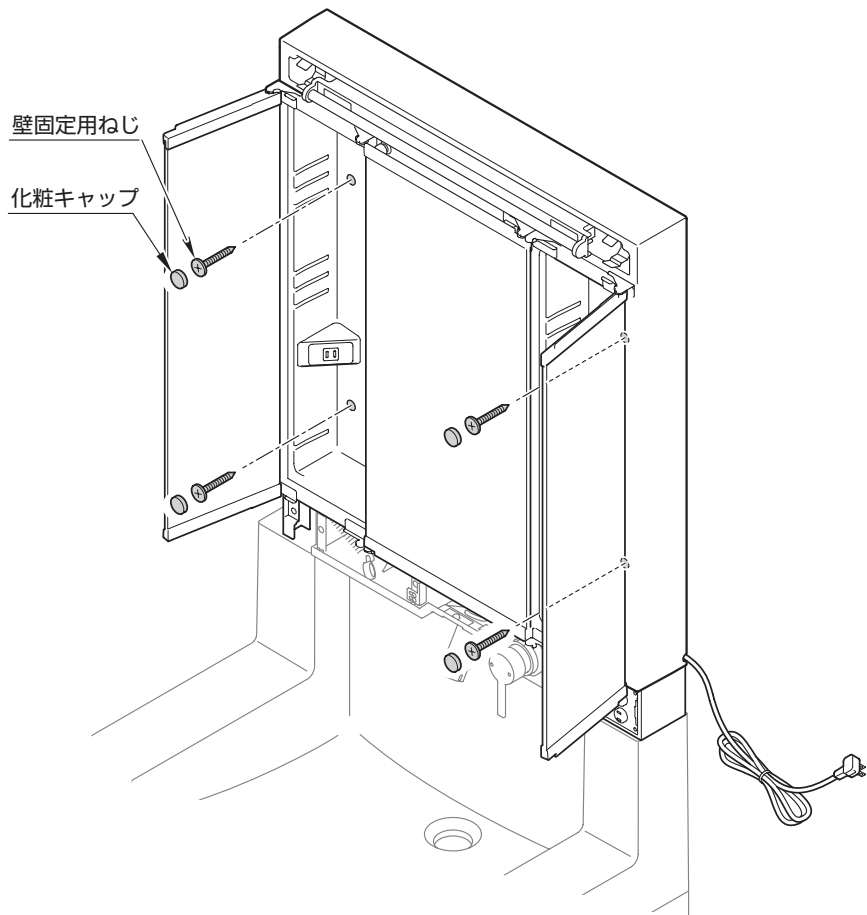
電源コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱・火災の原因になります。

6) 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）（続き）

⑥ 袖鏡を開き（一面鏡の場合は不要）、壁固定用ねじ4本で所定の位置に固定してください。

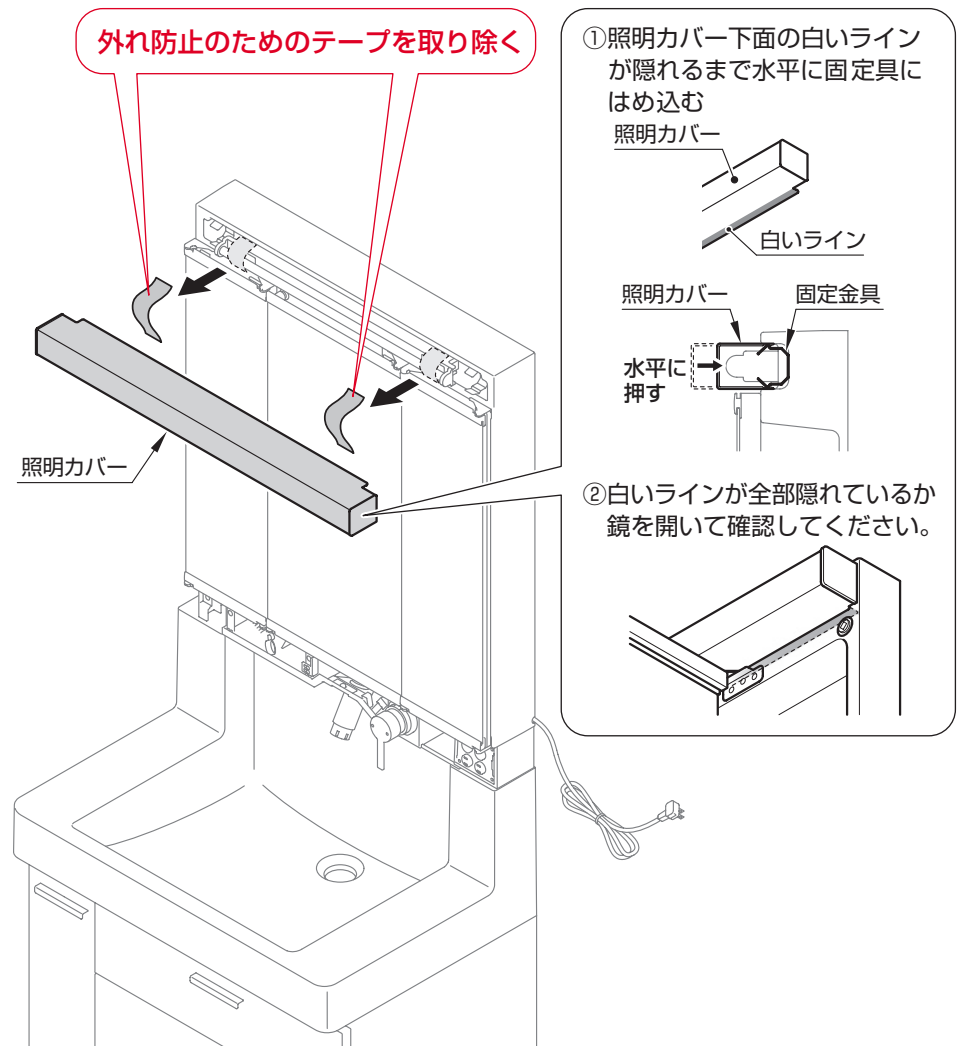
付属の化粧キャップを4個はめ込んでください。

※取り付け位置がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますので、ゆがまないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー（現場調達）を入れてください。



⑦ 蛍光ランプには、外れ防止のためのテープが貼り付けてありますので、必ず取り除いてください。

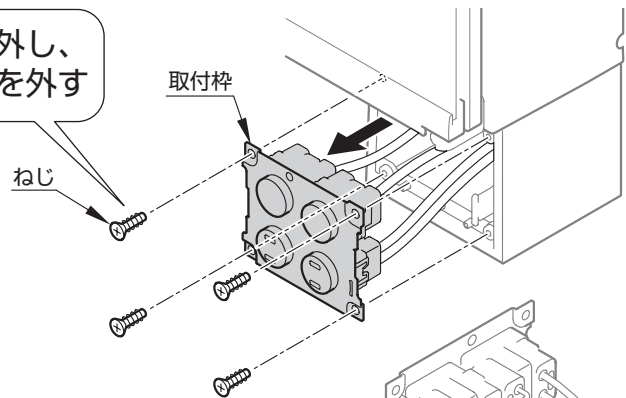
⑧ 照明カバーを取り付けてください。



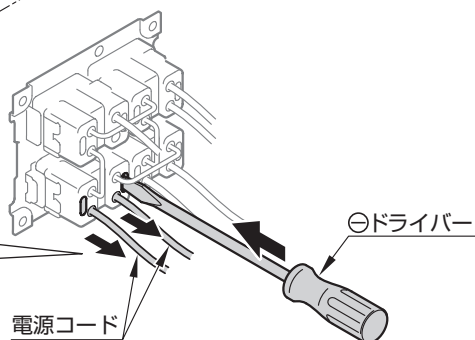
直結配線の場合 ※必ず「有資格者」が行ってください。

(1) コンセント部を取り外してください。

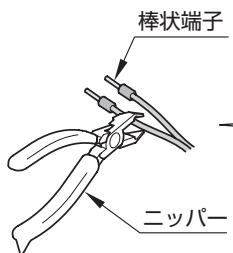
① ねじを外し、取付枠を外す



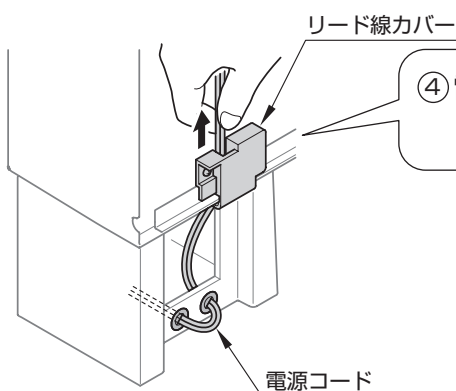
② ①ドライバーで押しながら、電源コードを引っ張って取り外す



③ 取り外した電源コードの棒状端子(2本)をニッパーなどで切断する



④ 電源コードを真上に引っ張りリード線カバーから引き抜く

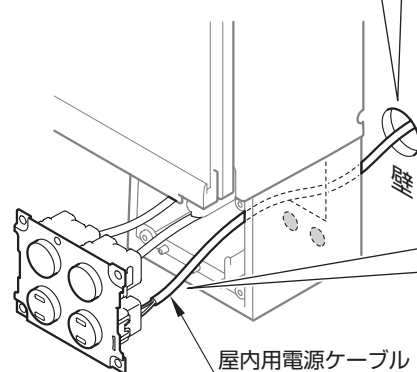


⚠ 注意

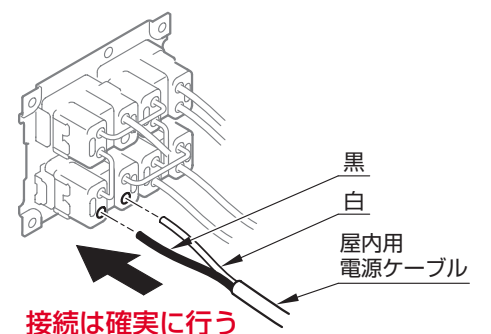
電源コードを斜めに引き抜かない
禁止 リード線カバーが破損するおそれがあります。

(2) 製品から屋内用電源ケーブルを取り出して、コンセント部と接続し、取付枠の固定をしてください。

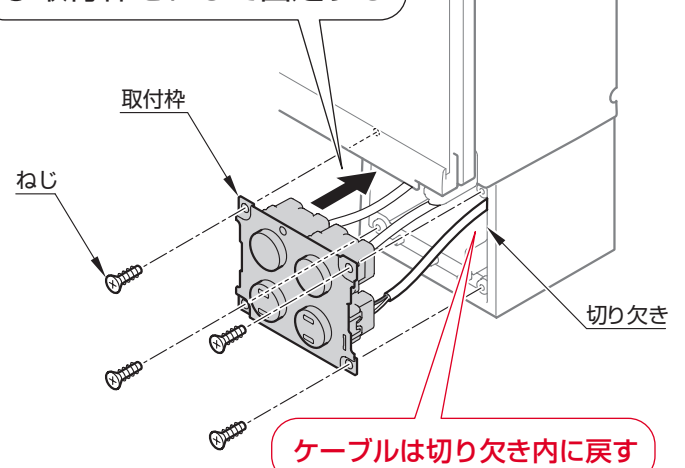
① 化粧鏡を壁に設置する際、屋内用電源ケーブルを製品から取り出してください



② 屋内用電源ケーブルを差し込み、接続する



③ 取付枠をねじで固定する

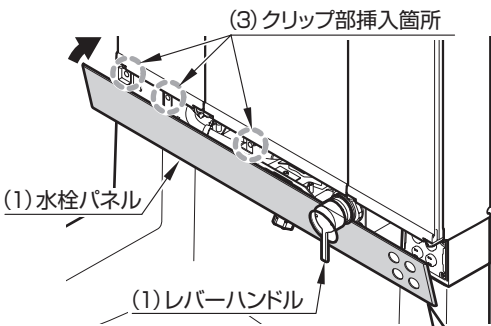


⑨ 水栓パネル（水栓付属品）を下記手順で取り付けてください。

(1) 水栓パネルをレバーハンドルに通す。

注意

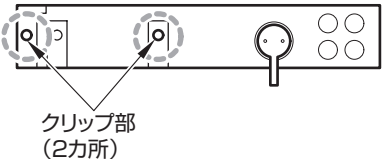
レバーハンドルは取り外さないでください。



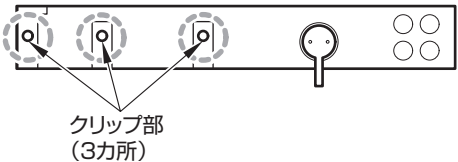
(2) 水栓パネル右端のツメ(2カ所)を差し込む。

(3) クリップ部を「パチッ」と音がするまで押し込む。

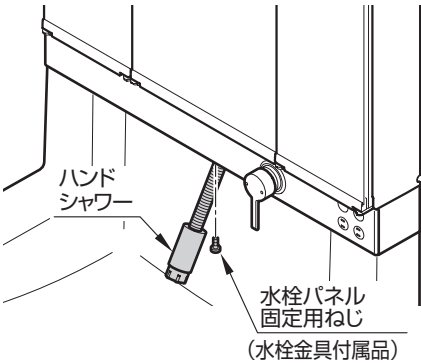
600・700サイズ



750サイズ

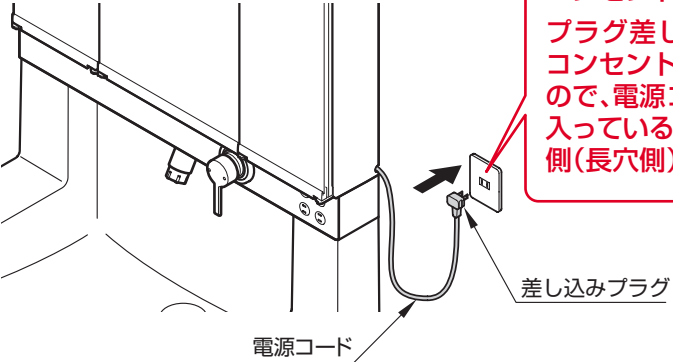


(4) ハンドシャワーを引き出し、下側から水栓パネル固定用ねじ（水栓金具付属品）で固定する。



⑪ 差し込みプラグをコンセントに接続してください。その際コードを束ねたまま接続しないでください。

コンセント接続
プラグ差し込み方向によっては
コンセントの極性が逆になります
ので、電源コードの黒いラインが
入っている側をコンセントの接地
側(長穴側)に接続してください。



警告

電源コードを束ねたままにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。



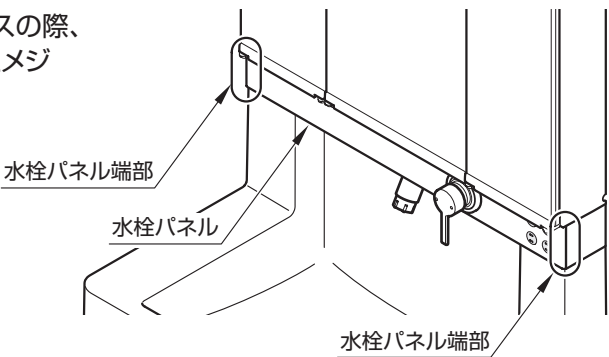
禁止



注意

水栓パネルの両端をメジシールしないでください。

※ 水栓パネルはメンテナンスの際、
取り外しますので、壁面とメジ
シールしないでください。

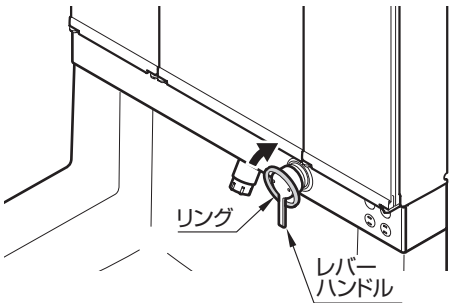


⑩ リング(水栓付属品)を下記の手順で取り付けてください。

レバーハンドルにリングを通し、
最後までしっかり締め込む。

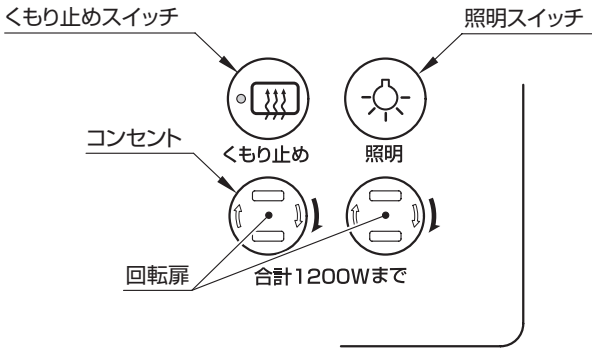
注意

レバーハンドルは取り外さないでください。



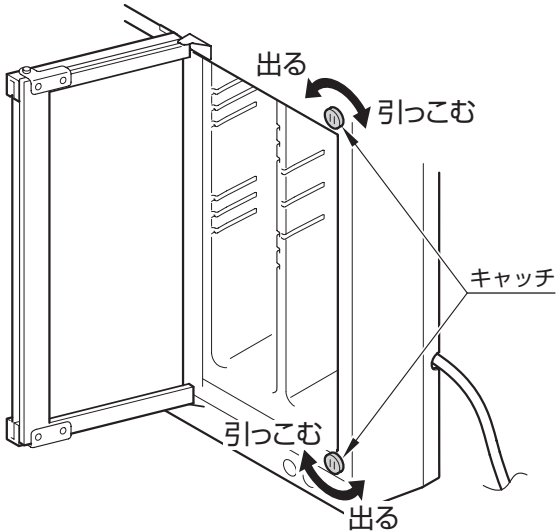
注意

スイッチ・コンセントが操作できることを確認
してリングを締め込んでください。
スイッチ・・・ボタンのON/OFFができること
コンセント・・・回転扉がスムーズに動くこと



7) 取り付け完了後の確認と清掃

- 製品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
- 点灯しない場合は、照明器具の安全回路が作動している可能性があります。
15秒待ってから照明スイッチを押してください。
それでも点灯しない場合は、もう一度15秒待ってから照明スイッチを押してください。
- 袖鏡が確実に閉まるか確認してください。
- 閉まらない場合は、下図のように上下のキャッチの高さを調整してください。



- ぐもり止めヒータースイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
- コンセントに、通電することを確認してください。
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。(一面鏡のみ)
※ 調整方法は鏡扉裏面に貼り付けのラベルをご参照ください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。(一面鏡のみ)
- 製品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。
- シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。